



とうぜんじ みず 東漸寺の水

～令和元年度選定～ Googleマップ

天童市大字貫津



〔管理者〕上貫津町内会〔保全団体〕津山の自然を守る会

ポイント

天童市貫津^{あめよばりやま}、雨呼山の裾野にある「じゃがらむら」から林道を約1km登ると、木々の緑に囲まれた池がある。岩の隙間から湧く水の量は多く、澄んだ水面を揺らして湧く様からは、躍動感が伝わってくる。この湧水は、昔から名水とされ、雨呼山は、この地の稲作に不可欠な水をもたらす山として、信仰されてきた。

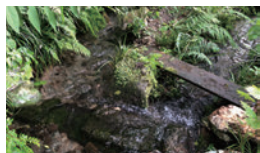
近くには、平安期の寺院「東漸寺」の名残の宝塔（天童市指定有形文化財）があり、当時の面影を残す。また、夏でも冷風が出る風穴「ジャガラモガラ」、やまがた百名山の「雨呼山」の散策を楽しむことができる。



みねご たき 峰越しの瀧

～令和2年度選定～ Googleマップ

天童市大字奈良沢



〔管理者・保全団体〕奈良沢町内会

ポイント

天童市奈良沢地区の林の中に、天童の三不動尊の一つ、剣瀧山不動尊がある。その不動尊に豊富に流れ落ちる滝が「峰越しの瀧」であり、訪れた人々の気持ちを癒してくれる空間となっている。滝は「東漸寺の水」を水源としている。

江戸初期、水田を開拓するために「東善寺堰」が造られたが、元禄2年に奈良沢と貫津で水争いが起こり、協議の末、奈良沢に8分2厘、貫津に1分8厘の水を流すことで和解した。現在も「分水石」により、その割合で堰から流れている。その堰の水が不動尊堂の裏山の峰を越えて瀧となって流れ落ちることから「峰越しの瀧」という名がついた。

アクセス

東漸寺の水（北緯38.345331°、東経140.420685°）

峰越しの瀧（北緯38.342662°、東経140.414958°）

津山小学校前の信号から南に進む。100m程進むと「じゃがらむら」の標識があるので、「交流センター」を目指す。

交流センター脇の林道を約1km上った右側の所にあるのが東漸寺の水である。

交流センターから400m程南へ進み、奈良沢不動尊の看板から左折し、さらに1km程進むと不動尊入口に着く。

※堰の破損により、滝まで水が来ない状態が続いています。（令和7年10月現在）

